

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標 指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標 指標)		今後の展開方針等	補足説明等
パ	細							
1	①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ H30	天然芝の良質な状態を保持・適正に管理することにより、スポーツキャンプ等の受入を可能とし、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成に繋げていく。	良質な状態を維持し使用頻度に合わせ安定した芝生の適正管理	サッカーキャンプ等の受入 3チーム)	サッカー専用の芝生を確保することで、キャンプ誘致に繋げていく。キャンプ誘致による市内宿泊施設の利用者増を見込む。	
1	②	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 尚巴志の普及 啓発 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居学校アウトリーチ」市内小学校 9校 各1回) ・文化講演会」 1回 2. 地域興しの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・尚巴志塾事業」ワークショップ 4回 3. エコミュージアムの創造 <ul style="list-style-type: none"> 「尚巴志巡回コンサート」市内文化遺産所在地区 4箇所 各1回) ・地域孫会議事業」市内文化遺産所在地区公民館 4箇所 各1回) ・琉歌募集事業」 ・伏城城跡出土資料修復」 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 尚巴志の普及 啓発 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 紙芝居学校アウトリーチ」市内小学校 9校 4年生 460名(久高小は全児童) 文化講演会」 ・目標客数 :100名 2. 地域興しの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 尚巴志塾事業」 参加者10名 3. エコミュージアムの創造 <ul style="list-style-type: none"> 文化遺産巡回コンサート」 合計観客動員数 :200名 地域孫会議事業」 参加者30名 琉歌募集事業」 応募者数 :140首 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 尚巴志の普及 啓発 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> H30年度 尚巴志まつりの実施 2. 地域興しの人材育成 <ul style="list-style-type: none"> H30年度 実践事業 3. エコミュージアムの創造 <ul style="list-style-type: none"> H30年度 エコミュージアムトレイル作成 <p>H30年度事業完了時、尚巴志」への認知度 愛着が高まり共通の知識を獲得、市民それぞれが情報を発信していくことで南城市の知名度がアップ、人気が高まり観光客増を見込む。</p>	
1	③	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ～ H29	本市への入域観光客数の増加や市産商品の販路拡大を図るため、県外・国外で開催される物産展等への出展を行い、観光資源や市産商品の情報発信・広報活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・国内都市圏や国外での販路拡大活動支援 各 1回以上) ・国内都市圏での観光PR活動 (1回以上) ・南城市ノベルティグッズの制作 (2種類以上) 	南城市や市産商品の認知度の向上 南城市の観光情報を発信させ観光誘客の促進 オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信	・プロサッカーキャンプ以外のスポーツ誘致の検討 既存市産商品のブラッシュアップ支援の検討	

H29活動目標 指標) :平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標 指標) :平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標（指標）	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標（指標）	今後の展開方針等		補足説明等	
1	④	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27～H31	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアにおける休憩施設等の整備を図り、受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	斎場御嶽周辺休憩施設等の整備（東屋、遊歩道、ベンチ等）	観光客の安全・猛暑対策の充実 斎場御嶽周辺休憩施設等整備工事の完了	斎場御嶽を拠点とする市内周遊型観光の新たな体験交流事業の考案と地域活性化の取り組みにつなげる。	
1	⑤	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27～H30	プロ・サッカーキャンプ及び公式戦受入等の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、スポーツツーリズムを推進していく。	・建築工事（スタント等） ・電気工事（屋内外の照明等） ・機械工事（地下貯水ポンプ等） ・外構工事（管理道路付け替え等）	南城市陸上競技場に関する建築、電気、機械、外構工事の完了	プロサッカーキャンプの受入体制を充実させながら、各種スポーツ合宿（大学等）の誘致に取り組み、本市の滞在型観光を推進し地域活性化を図ると共に、機能強化により市民の健康増進への意識向上に繋げる。	
1	⑥	南城市観光振興計画策定事業	H28～H29	平成30年度から10年間の観光施策を検討するにあたり、これまでの施策の検証を行なうとともに、各種アンケート調査等の基礎調査を行い、中核地を拠点とした南城市らしい観光振興計画を策定する。	基本調査、分析等を踏まえた計画書の策定	南城市観光振興計画策定の完了 ※概要版50部、報告書50部	計画に基づいて市の観光行政を運営していく。	
1	⑦	海外交流推進事業	H28～H31	アジアからインターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の魅力や課題を探り、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査すると共に、アジアの旅行社や関係機関へ本市をPRし修学旅行などのエデュケーショナルツーリズムに取り組み、観光振興に繋げていく。	・アジアからのインターンシップ受け入れの実施 ・アジアに向けた観光PR活動の実施	学生のSNS等による南城市情報拡散記事数30件 PR活動実施の完了	各関係セクターと連携しながら、インターンシップカリキュラムをブラッシュアップし、積極的かつ効果的なPR活動を行っていく。	
1	⑧	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28～H31	観光コア施設を拠点として南城市の魅力を一元発信するため、特徴ある地域をサテライトとして位置づけることの決定やこれらをネットワーク化した全体的なマネジメントなどを明記した総論に基づき各論を策定していく。	南城型エコミュージアム実施計画 各論その1)策定(9地域)	南城型エコミュージアム実施計画書 各論その1)の発行【00部】	全27のサテライトにおける実施計画（各論）策定に向けて取り組む。	

H29活動目標（指標）：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H29成果目標（指標）：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標（指標）	備考	
事業番号	パ 細			H29事業内容	H29活動目標（指標）		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑨	芸術による地域活性化推進事業	H28 ～ H29	地域のムラヤーを活用し、地域と沖縄県立芸術大学の学生が協働で、地域資源を生かした沖縄ならではの美術工芸体験メニューを構築し、観光振興に繋げていく。	・ワークショップ及び展覧会の実施 ・地域の伝承を元にした絵本の制作	・イベント実施による観光閑散期の集客増 ・展覧会への来場者数 100名 ・地域伝承の絵本制作 100部	体験メニューとしての位置づけを目指す。	
1	⑩	南城市海岸線景観魅力アップ推進事業	H28 ～ H29	沖縄本島南部には、多くの様々な観光スポットが点在しており、観光客の多くは、東海岸の青い海を眺望しながら爽快地ドライブし本市を訪れている。訪れた観光客がまた訪れたくなる魅力ある美しい景観（高台からの眺望、移動景観）の創出に取り組む。	玉城地区(L=4.8km)の雑木等伐開実施	玉城地区(L=4.8km)の雑木等伐開の完了	形成した景観を維持するため、道路管理者と連携を図り、管理に努める。	
1	⑪	南城市観光コア施設整備事業	H27 ～ H33	本市の観光情報を発信し観光交流できる拠点(コア)施設を整備し、観光客の利便性を向上させ更なる観光振興に繋げていく。	基本構想に基づいて施設整備基本計画を策定	施設整備基本計画策定の完了	基本設計、実施設計を行い、施設建設に向けて取り組む。	
1	⑫	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H31	広域連携（南城市、伊江村、渡嘉敷村）により、東アジア諸国の中・高校生を対象に、県内各地で約3週間の研修や共通体験等を通じ相互理解を深めることで、グローバル化に対応した将来を担う若者の人材育成と人的ネットワークの形成を図る。	研修プログラムの実施（約3週間）	国際感覚豊かな人材の育成：50名 （県内参加者12名（うち南城市4名） 県外参加者12名 ・アジアからの参加者26名	実施期間で培った人材及びネットワークが活かされるよう展開していく。	
1	⑬	観光交流サイン整備事業	H25 ～ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	集落域文化遺産サイン設置工事	集落域文化遺産サイン設置工事完了	・経路の利便性を高めることで、誘客数を増やし、地域の文化遺産を周遊しながら歴史・文化を知ってもらい、地域住民との交流の場やリピーターの増加を促すことで、地域の活性化につなげていく。 ・地域が主体となり文化遺産の散策を推進するほか、近隣学校と連携し、地域の歴史・文化を学ぶ地域学習を総合学習の一環として実施できるよう検討する。	9月変更（事業追加）

H29活動目標（指標）：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標（指標）：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標（指標）は事後評価を行う時期（来年夏頃）までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標 指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標 指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
	⑭	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ H30	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	・バス乗降場上屋の整備 ・一部擁壁の整備	・バス乗降場上屋の完成 ・一部擁壁の完成	供用開始後（平成30年度）の目標を以下のとおりとする。 利便性が確保されたか（80%以上）を含め、当該駐車場のあり方をアンケートで検証する。 （今後のスケジュール） 平成29年度：バス乗降場上屋、（一部）擁壁の工事 平成30年度：造成工事、面整備、擁壁工事、管理施設（外灯、安全柵等）工事 平成31年度：供用開始	12月変更（事業追加）
2	①	耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備を支援	耐候性ハウスの整備（5,000㎡ 約20棟）	JA等関係機関と連携し施設栽培の技術向上に取り組んでいく。	
2	②	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良母牛導入支援	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%（全導入目標頭数：400頭） ・母牛の若齢化 ・基本登録時審査成績向上	繁殖牛導入により、安定した繁殖、良質な肉造り及び農家の所得向上に向けた支援を引き続き展開していく。	
2	③	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	優良乳用牛導入支援	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%（全導入目標頭数：250頭）	優良乳用牛の導入によって、需給計画の達成に努め、搾乳牛の更新で年間乳量8,000kgを目指す。	

H29活動目標 指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標 指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標 指標)	備考	
事業番号	事業内容			H29活動目標 指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ H33	低炭素社会を構築するため、市内の防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替えることにより温室効果ガスの排出削減を図る。	防犯灯及び公共施設をLED照明器具に切り替える	防犯灯及び公共施設が排出する温室効果ガス(Co2)を8,411kg削減	H33年度まで、年次的に自治会の防犯灯及び公共施設等の照明をLEDに切り替えていく。	
4	①	学習支援員配置事業	H25 ～ H33	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的に、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・市立8小学校へ学習支援員8名配置 (支援児童数330名程度:支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当り4名程度の児童を支援する。) ・市立4中学校へ学習支援員4名配置 (支援児童数135名程度:支援員1名当り週35時間授業支援を行う。1授業当り4名程度の児童を支援する。) 	学力到達調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 ※H28年の無回答率 4.0ポイント H28県平均の無回答率 4.8ポイント ②中学校(2年)算数前年度比較0.5ポイント改善 ※H28年の無回答率 6.1ポイント H28県平均の無回答率 7.7ポイント	H33年度まで事業を継続し、当該調査の無回答率を0に近づける。	
4	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ H33	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対し、適切な教育（特別支援教育）を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の通常学級への受入れ機会が増加している。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員を配置し、担任教師と連携し、適切な特別支援教育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・6幼稚園 特別支援教育支援員10名(対象園児23名) ・8小学校 特別支援教育支援員37名(対象児童95名) ・4中学校 特別支援教育支援員6名(対象生徒13名) 	学習や学校生活においてのサポート体制を強化し安心して学べる学習環境を構築 幼児、児童、生徒個々の特別支援教育支援員活用報告書の作成(年2回)	障害のある幼児、児童、生徒の自立や社会参加を促し、生きる力を育成する。	
4	③	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ H31	児童・生徒の学力向上の取り組みとして、ICTを活用し既存の学習活動と融合した効果的な授業展開を実施することを目的に、各小・中学校の普通教室や特別教室へ電子黒板等を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・8小学校 百名、玉城、船越、知念、佐敷、馬天、大里北、大里南)電子黒板整備(5年～6年普通教室・特別教室) ・7小学校 百名、玉城、船越、知念、佐敷、馬天、大里南)校内LAN整備 	学力到達調査において無回答率の縮小 ①小学校(5年)算数前年度比較0.5ポイント改善 ※H28年の無回答率 4.0ポイント H28県平均の無回答率 4.8ポイント	H31年度まで順次整備することで、ICT教育へ対応した環境整備を図り、学力向上に寄与する。	

H29活動目標 指標) :平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。
 H29成果目標 指標) :平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成29年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

南城市		事業名	計画期間	事業概要		H29成果目標 指標)	備考	
事業番号	事業名			H29事業内容	H29活動目標 指標)		今後の展開方針等	補足説明等
パ	細							
5	①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ H33	本市は神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「ブスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	・御嶽」会議、調査等（9回） ・資料集「戦争」会議、調査、資料収集（5回） ・民俗」（検討会議：2回、会議、調査、資料収集（5回）	・御嶽(仮称)」刊行 ・資料集「戦争」実地調査による資料収集と整理 ・民俗」実地調査による資料収集と整理	H30年度：資料集「戦争」刊行 H33年度まで：民俗」調査、資料収集、整理	
5	②	文化センター機能強化事業	H25 ～ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、屋外ステージの常設屋根の整備を行なう。	屋外ステージ常設屋根設置工事の実施	屋外ステージ常設屋根設置工事の完了	・文化芸術創造発信の拠点として活用 ・県内唯一の音楽専用ホールとしての活用を促進 ・文化芸術のさらなる発展への寄与	

H29活動目標 指標)：平成29年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H29成果目標 指標)：平成29年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期（来年度夏頃）までに把握できるものを記載している。